

[く こころの時代～宗教・人生～](#)

こころの時代～宗教・人生～

“基地の街”に生きる

初回放送日 **E** 1月11日(日)午前5:00

戦後一貫して“基地の街”だった立川。1937年に立川で生まれた加藤克子さんは、街にあふれる米兵の姿を見て育ち、米軍の基地拡張に反対する砂川闘争も身近で見てきた。大学時代は60年安保闘争に参加。その後、米軍の代わりに自衛隊が移駐すると、基地に反対する市民活動を始め、現在まで継続している。今も月に1度、基地反対を訴えるデモを行う。その人生をたどり、基地に向き合い続ける加藤さんの思いに耳を傾ける。

[シェアする](#)[放送予定](#) [ギャラリー](#) [シリーズのエピソード](#)

放送予定

E 1月11日(日)午前5:00～午前6:00

※指定地域の最新4件まで放送予定を表示しています。

ギャラリー



東京・立川で反基地活動を長年続けてきた加藤克子さん、88歳。



加藤さんがメンバーになっている市民団体「立川自衛隊監視テント村」の基地に反対するデモは、毎月1回、43年に渡り続けられてきた。



加藤さんは、母が砂川闘争に参加していたこともあり、砂川闘争の記憶の継承に努めている。



60年安保闘争に参加していた加藤さん。デモで亡くなった樺美智子さんは友人だった。